

ビジュアル メタグループウェアの実装

世古 将洋，勝間田 仁，速水 治夫

神奈川工科大学 情報工学科

1. はじめに

近年，多くの企業においてグループウェアが導入されているが，オフィスワーカーの作業環境や社会的背景に密着した使い勝手の良いグループウェアの低コストによる導入は困難である．一方，オフィスではホワイトボードの上にビニールテープや紙を貼りつけ，オフィスワーカー自身が多様な情報共有ツールを構築し使用している．我々はこれと同じ感覚により，グループウェアを Web 上で構築可能とする支援システムの開発を目指している[1]．

2. 現在のグループウェア導入方法

現在グループウェアの導入方法としては次の2つが代表的である．第 1 は個々のユーザグループの要求を分析し，特注の専用システムを構築する特注型，第 2 は市販のグループウェア製品を購入する市販製品購入型である．

特注型においてはシステム開発や社会的分析の専門家の協力を得て，システムを利用する多くのオフィスワーカーの意見を取り入れ，開発を行うことで使い勝手の良いグループウェアを導入可能であるが，高いコストが生じる．

市販製品導入型においては専門家の直接の協力を必要としないため，低コストによる導入が可能であるが，開発者グループは多くの組織に適用可能な一般的なシステムしか構築できず，特定ユーザグループの作業環境に密着したシステムとはならないし，使用にもとづきその改良を行うことが出来ない．

3. ホワイトボードの様なグループウェア

オフィス等でよく使用されるホワイトボードは，白い画面の上に図や文字を書く，マグネットを貼

り付けるといった機能を本来提供するが，オフィスワーカーがこれと組み合わせビニールテープや紙等を貼りつけ，多様な情報共有ツールをホワイトボードの上に構築し改良を重ね使用することがある．

ホワイトボードの本来機能を Web 上に実現したシステムはすでに提案されている[2]．我々はホワイトボードの拡張利用の様にオフィスワーカー自身の要求にもとづきグループウェア構築を行う支援システムの開発を目指している．本システムを“**Visual Meta Groupware**”と名付ける．本システムにより使い勝手の良いグループウェアの低コストな導入が可能になると考えている．

4. Visual Meta Groupware の実装

4.1 運用イメージ

Visual Meta Groupware によるグループウェアの運用イメージを図 1 に示す．

ユーザは Web ブラウザから本システムにアクセスし，共有領域上の基本部品コレクションから必要部品を選択し，ビジュアルに張りつけるようにグループウェアを構築する．プロトタイプシステムでは基本部品として図 2 に示す 7 つを用意した．ユーザは Web ブラウザから構築されたグループウェアを利用する．必要であれば直ちに改良も行える．構築したグループウェアをグループウェアライブラリに保管しておくことも可能であ

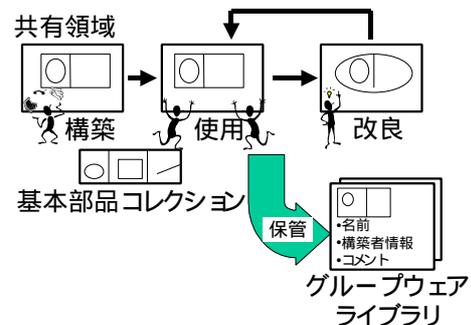


図1. Visual MetaGroupwareによるグループウェア運用イメージ

る。図 3 はプロトタイプシステムにより構築した行き先案内板(図 3-(a))および、簡易メーリングリスト(図 3-(b))の動作画面例である。

4.2 システム構成

本システム構成図を図 4 に示す。本システムはクライアント・サーバシステムの形態をとる。クライアントシステム実行環境として JAVA パーチャルマシン Ver1.1 以上およびメールクライアントを搭載した Web ブラウザを、サーバシステム実行環境としては、CGI(Common Gateway Interface)を介して Perl スクリプトを実行可能な Web サーバを必要とする。クライアントサーバ間の全ての通信は HTTP(Hyper Text Transfer Protocol)により行う。

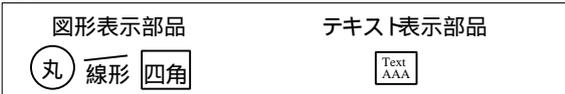
5. 今後の展望

今後は実用システムを構築し、その使用実験を行う。また基本部品インタフェースの厳密な定義と、基本部品開発支援ライブラリの構築を行いたい。オープンソース開発手法を導入し、本システムの内部仕様を公正に公開することも検討している。

[参考文献]

- [1]世古 将洋,勝間田 仁,速水 治夫: ビジュアル・メタ・グループウェアの開発, 第 38 回グループウェア研究会.
- [2]権藤 広海,瀬川 典久,中本 泰然,村山 優子,宮崎 正俊: 時間経過を考慮した戸口伝言板システムの設計, DICOMO2000 シンポジウム論文集,pp109-pp113.

視覚的な記述機能を提供する部品



特殊な機能を提供する部品

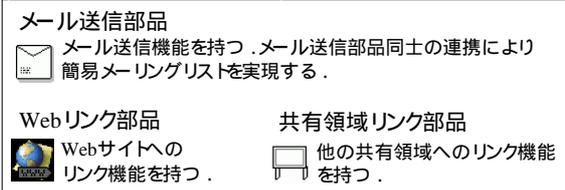


図2.基本部品コレクション

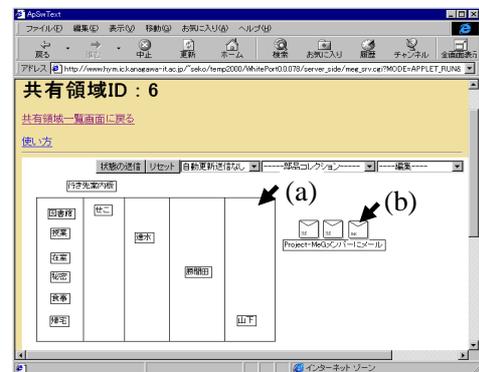


図3.プロトタイプの動作画面例

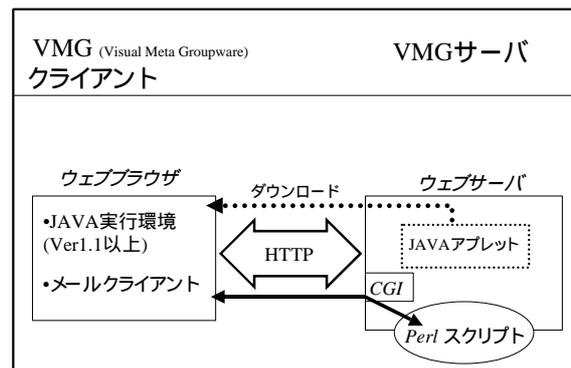


図4.システム構成図